

此并獅子頭を渡せし当村を以て門出とせし
故よつ出村といふ神事頭家あり大月神
社のあまて獅子頭を舞せし村の西田畔乃
中よ高き防沼といふあり高き防ハ吹浦村
の氣流まで出村ハ牛王老翁を引

一政所

古胡家より友人をきて政所を引きあふ
西の名なり今ハ一々村の名となりお供
記を六ヶ村の組となり太平記評判云々又
氏若を同僚の衆下に奉り目代政所なるん

と奸者ありてと云々又云長元和記

秀忠公長官川左衛門政貞を以て境の政所
とす（さる作付）とありさる政事を
執りし西の名なり又さる其の如きを稱して
政所といふ事もあり又云長元和記大仏再興
の衆下に秀吉参祀も後仁一て薨去一ぬ
（む後室政所の禪危の内斗）ひと一てと
云々

齊明紀五年春三月遣阿倍臣名闕率船師
一百八十艘討蝦夷国阿倍臣集飽田